

平成29年度第2回総合教育会議録

平成30年2月23日

平成29年度第2回総合教育会議録

日 時：平成30年2月23日（金） 16時00分から17時00分まで

場 所：筑後市役所東庁舎3階 302会議室

- 議 事：
- (1) 前回の協議事項に関する進展状況について
 - (2) これまでの総合教育会議での協議事項の経過について
 - i. 筑後市偉人伝の作成について
 - ii. 小学校における英語放送及び英語表記での掲示について
 - iii. キャリア教育の推進について
 - iv. スポコン広場における移動手段について
 - v. 中学校における剣道の実施について

- 決定事項：
- (1) 前回の協議事項に関する進展状況について
 - 掲示物の作成にあたっては「いじめに繋がらないような方言」となるよう留意すると共に作成を急ぐこと。
 - (2) これまでの総合教育会議での協議事項の経過について
 - i. 筑後市偉人伝の作成について
 - 冊子作成後は、市職員への内容の周知も行うこと。
 - ii. 小学校における英語放送及び英語表記での掲示について
 - 学校施設に係る英語表記について、小学校と中学校での記載の統一について確認をすること。
 - iii. キャリア教育の推進について
 - iv. スポコン広場における移動手段について
 - v. 中学校における剣道の実施について

[議事録]

田中総務部長

皆さんこんにちは。本日、進行を務めさせていただき総務部長の田中という。12月に総務部長になったばかりで不慣れな点もあるが、よろしくお願ひしたい。まず、現時点で、傍聴人及び報道機関の出席はないことをご報告する。

それでは、平成29年度の第2回目の総合教育会議を開会する。お手許の会議次第に則り進めて参りたいと思う。

まずは、西田市長の挨拶をお願ひする。

西田市長

みなさま、こんにちは。平成29年度第2回目の筑後市総合教育会議の開催にあたって、一言ご挨拶を申し上げる。教育委員の皆様方には大変お忙しい中、ご出席をいただき御礼申し上げます。また、日頃より筑後市の教育行政のためにご尽力をいただいていることに対し感謝申し上げます。

さて、本日の会議は平成29年度に入り2回目の開催ということだが、私が筑後市長に就任して以降では始めてということになる。筑後市の長として、委員の皆様から頂戴するご意見、また、本会議でなされる議論を通して、筑後市の教育の課題、あるべき姿を共有しながら教育委員会と一体的に教育行政を推進して参りたいと考えているので、どうかよろしくお願ひしておきたいと思う。

私が市長に就任した際に、政策指針として「子どもたちの教育環境の充実」を掲げていた。まちを支えるのはそこに住む人であり、筑後市が将来に渡って発展を続けていくには将来の筑後のまちを支えていくであろう子どもたちの可能性を伸ばしていくことが非常に重要であると考えている。そのために必要な教育環境を整備し、子どもたちのための教育が充実するよう市政の運営をしたいと考えているので、委員のみなさんにおいては、今後も引き続きご協力をいただければ幸いである。

それでは本会議で策定した教育大綱の目標である「教育のまち ちっご」の実現に向けてさまざまなお意見を頂戴できるよう会議での活発な議論をお願ひ申し上げ、本日の挨拶とさせていただきます。

田中総務部長

これより議事に入るが、本日は西田市長を迎えて初めての総合教育会議ということになるため、これまでのこの会議の内容を振り返り、そして、その後の市における取組経過をご報告させていただくことが主な内容となる。それらをお聞きになり、ご意見等、更に賜うことができれば幸いであると思っているのでよろしくお願ひする。この後の進行については市長よりお願ひする。

西田市長

それでは本日の会議を進めて参りたいと思う。「3 報告事項及び協議事項について」ということで、「(1)前回の協議事項に関する進展状況」について報告をお願ひする。

坂本学校教育課長

それでは、前回吉田委員から提案いただいた、方言や大和言葉、人を思いやる言葉などをリスト化し、学校に掲示してはどうかという意見についての現在の進捗状況を報告する。ま

だ、委員の皆さまに具体的な形としてお示しできるまでには進捗を見ていない。現在、学校教育課内で具体的な言葉の選定作業をさせていただいている。言葉の意味や使用する場面などをリスト化し、それを学校に掲示したいということで進めている。

西田市長

具体的な報告にはなっていなかったが、今、坂本学校教育課長からご報告をさせていただいたとおりである。皆さまからご意見等あればご発言をお願いしたい。

吉田教育委員

教育委員会の堤先生と田中先生と一緒に打ち合わせをさせていただいている。いじめに繋がらないような方言になってほしいと考えている。

西田市長

吉田委員から「いじめに繋がらないような方言」という意見をいただいた。十分に留意し、早急に形にできるよう努めてもらいたい。

他に皆さまからあればお願いしたい。無いようであれば「(2)これまでの総合教育会議での協議事項の経過」について議論を行いたい。

田中総務部長

それではまず私の方から、まず全体の経過を先に申し上げ、その後、各内容について担当課よりご報告をさしあげたい。

平成27年に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が一部改正された。この改正を受け総合教育会議を設置し、この間、協議を行ってきたところである。会議の設置後3年が経過したが、これまでに全8回の会議を行った。平成27年度には教育大綱の策定を行った。平成28年度には3回の会議を開催し、教育大綱に掲げる5つの基本方針の推進についての意見交換を行ったほか、PTA活動の活性化、コミュニティスクール、放課後子ども教室についての意見交換を行った。今年度に入ってから、予算編成前の9月に会議を開催し、子育て施策や青少年健全育成事業に関する意見交換を行った。また、教育委員さんから協議題の提案もいただくなどしたところである。また、9月に実施した会議の中でALTの増員についてのご意見をいただいたが、この会議の中で一定の結論に達したことから、今度の3月2日に開会する3月議会において、ALTを現在の1名から3名に増員するというところで予算案の提案をしているところである。このように、成果に繋がったもの、あるいは進捗中であるもの様々であるが、主に成果に繋がったものについて教育委員会より報告をさせていただきたいと思う。

西田市長

それでは1つずつ、順番に説明をお願いします。

森田社会教育課長

それでは私の方から、筑後市偉人伝の作成に関する経過や、現在の作業状況についてご説明したいと思う。

この偉人伝政策のきっかけとなったのは、平成28年8月8日の総合教育会議において、吉田教育委員より、筑後市には眞木和泉守が師弟教育を行った山榎窩がある。山榎窩祭に参加する水田校区の子どもたちだけではなく、市内全小学校にこの山榎窩を知ってもらうことができないか。小学生にも分かりやすい冊子を作成し、配布できないか、という提案をいただい

たことだった。子どもたちに是非知ってほしい筑後市ゆかりの偉人を数人ピックアップした小冊子を作成することを検討するようというご指示をこの総合教育会議の中でいただいたので、これを受け、私ども社会教育課において検討を開始したところである。A5版、20ページ程度の小学校高学年位から読める冊子を1,000部作ることとして、平成28年度においては新年度予算の確保を行った。

具体的な冊子の作成については本年度より開始した。まずは、文化・文化財担当において様々な資料の中から筑後市ゆかりの偉人の洗い出し作業を行い、27人の偉人を候補としてリストアップした。その中から、小学校の教材として取り扱われている人物、あるいは、子どもたちが関わっている行事などに関連する人物などを中心に選考を行った。その結果として、日源上人、中島安平、秋津島浪右衛門、眞木和泉守保臣、益田素平の5人を冊子に掲載することに決定した。それぞれの偉人の人物概要については説明を割愛させていただく。制作にあたっては、筑後市の偉人伝編集委員会を組織し進めているところである。委員構成は、小学校長会から推薦を受けた校長先生3人と教頭先生2人、学校教育課の指導主事の先生3人、これに社会教育課の担当職員を加えたメンバーとし、編集協議及び編集作業を進めてきた。

7月の第1回目の会議で、各委員に編集を担当する人物を決めてもらい、社会教育課より粗の概要文や参考文献、地図、絵などの資料を提供し、それらを基に、単なる人物紹介に終わらないよう、例えば人から非難されようとも信念を貫き通し解決策を導き出した姿であるとか、私財を投げ打ち粘り強く取り組んで地域に貢献した姿であるとか、それぞれの偉人の生き方を紹介できるようにする、という視点をもってもらい、原稿執筆にあたっていただいたところである。

8月末を目途に作業を進めてもらい、その後9月から11月にかけて社会教育課と各委員と個別に、文章表現や、史実や文献との整合性の確認を行い、原案の作成を行った。

11月に第2回の編集委員会を開催し、小学4年生から読めるような内容となるよう文章の確認を行ったり、振り仮名、挿絵などのレイアウト等について協議を行った。

本年2月に、本日の資料として配布しているような形にまで仕上がったところで、第3回の編集委員会を開催し、全体的な体裁の確認を行った。本日お配りしている資料から、まだ少し訂正を行う箇所はあるものの、ほぼこのような形で印刷をしていくことで決定し進めている。最終的には26ページの冊子となった。フルカラー印刷で3月末を納期に発注手続きを行う予定。

冒頭、1,000部発行すると申し上げたが、完成後は市内小学校の各クラスに5冊ずつ、このほか中学校や学童保育所、公共施設や自治公民館などに配布していこうと計画している。

また、制作ただけで終わらないよう、今後、この冊子をどう活用していくかが大切であろうと考えている。社会教育課としては、毎年11月のちご教育の日に併せて開催している青少年健全育成のための意見発表会の小学校の部のテーマを、昨年度から「伝記を読んで思うこと」としている。その発表のための資料としても使ってもらえるような仕掛けができないかと思っているし、学校教育活動の中でも活用してもらえるようなことになればありがたいと思っている。

いずれにせよ、市内の子どもたちにこの小冊子を通じて筑後にこのような偉人がおり、このような生き方をしたということを知ってもらいたいし、このような偉人を生む土壌を持った筑後市に誇りを持ってもらうことに繋がればよいと思っている。

西田市長

今の説明について、委員の皆さまからご意見や質問などあればお聞きしたいと思う。

久保教育委員

意見や質問ではないが、この会議の中で立ち上げたことが形になっていっている事をうれ

しく思う。

吉田教育委員

立派な冊子ができあがっており、久保先生と同じくうれしく思う。

西田市長

小学校の生徒だけでなく、市役所の職員にもこのような人物を知らない者がいる。久富用水や一条の千間溝、日源上人さんなど、私も仕事の関係で携わって知ったのだが、そうでない職員の中には知らない者もいる。そのような者にも周知ができればより効果が上がると思う。

森田社会教育課長

承知した。

西田市長

次に進みたいと思う。小学校における英語放送及び英語表記での掲示について説明をお願いします。

田中教育指導主事

小学校では、平成32年度から5、6年生の外国語科、3、4年生の外国語活動が完全実施される。それに向け、来年度から移行期間として実施されることになるのだが、そのような中で、子どもたちに日常的に英語の文字を目にしたり、音声を聞いたりする、英語を感じる機会を作ったかどうかということで、英語による校内放送、それと学校施設に係る英語表記という2つの提案をいただいていた。

まず、英語表記のことについて、松原小学校の一例だが、職員室をschool officeと表記したり校長室、理科準備室など特別教室を英語表記で示してもらっている。お配りしている資料の一番後ろのページに、各学校にある施設の英語表記を掲載しているので参照いただきたい。

また、小学校について提案させていただいていたのだが、これに倣って筑後中学校でも職員トイレや職員室、ロッカールームやミーティングルームなど、英語で表記を行ってもらっているところである。

(スクリーンに映像を投影)

次に、小学校では毎日、放送委員会の子どもたちを中心に校内放送を行っている。様々な放送を行っているのだが、それを英語の放送にして、そのあとに子どもたちが日本語の放送を付け加えていくという形で準備をさせていただいた。英語についてもネイティブの方の発音が望ましいと考え、ALTの先生に録音を依頼した。朝の放送と、中休みの終わりの放送と、給食準備の放送と、掃除が始まる前の放送と、この4つについて音声の作成を行った。音声の原稿を配布資料に掲載しているのでご参照いただきたい。実際に音声を流してみたいと思う。朝の放送である。

(音声)

このような形で、英語のアナウンス、日本語のアナウンスを交互に流すことで毎日の放送

を行っている。

西田市長

小学校における英語放送及び英語表記での掲示について説明があった。このことについて、ご意見、感想でもよいがあればお願いしたい。

中村教育長

これもこの会議の場で提言をいただいて、やろうかということになり、今取り組んでいるものである。

久保教育委員

このような放送を毎日聞いていると子どもたちの耳が慣れ、自然に聞き取れるようになるように思える。今の音声を聞いて、だんだんと複雑なものにしていってもよいのかな、と思った。

中村教育長

これは2種類作っていなかったか。

田中教育指導主事

スピードを変え、早いものと遅いものの2種類を作っている。今流した音声は遅いものである。

中村教育長

ある程度の期間、遅いもので慣らしていき、後に早いものに切り換えていくことを考えている。

久保教育委員

投影された映像で小学校の職員室と中学校の職員室の英語表記の記述が違ったように見えたのが気になった。

田中教育指導主事

小学校がschool office、中学校はteachers roomになっていた。小学校については私が提案した記載にさせていただいているが、中学校は学校の英語の先生が作成したのかもしれない。

久保教育委員

筑後中学校の生徒だけ間違っていると覚えるということがあるといけない。

西田市長

久保教育委員から指摘をいただいたので小学校と中学校で記載を統一しなくてよいか確認をしておいてもらいたい。

田中教育指導主事

確認を行うようにしたい。

西田市長

他にご意見等あるか。なければ次の項目に移りたい。「キャリア教育の推進」について報告をお願いしたい。

角指導主事

昨年度、この会議の中で、より子どもたちに地元の企業や事業所等を活用した教育ができないかというご意見をいただいた。本日は、中学校でどのようなキャリア教育を行っているかについてご報告したいと思う。

かつて、中学校では進路指導という言い方をしていた。将来に向けての職業観、勤労観を身につけてもらうという観点から、小・中・高と連続してキャリア教育という言い方をするようになったが、現在でもまだ進路指導という言い方をするところが多いようである。

現在、筑後市の3中学校では職場体験学習を実施している。その様子を写真等含めてご紹介したいと思う。

(スクリーンに映像を投影、資料の内容説明。)

総合教育会議の中では、もっと訪問先の職場を開拓してはどうかという提案をいただいたので、教育委員会で20事業所ほどをピックアップし、手分けして交渉に回った。新たに13の訪問先を開拓した。私は以前、八女郡にいたが、八女ではこの職場体験を3日間ほどかけて行っている。筑後市では1日間ということで実施している。

西田市長

キャリア教育の推進について説明をいただいた。委員の皆さまより質問等あればお願いしたい。

吉田教育委員

取り組みの様子をご報告いただいたが、とても素晴らしい取り組みだと思う。子どもたちが将来の職業を選択する際に、経験に基づいた選択ができるようになると思う。

中村教育長

この会議で議論いただいて、対象職場を拡大するという話になったのだが、今報告したのは、各学校で探し得た事業所である。市内の事業でも大きなところについては各学校とも敷居が高く感じており、交渉ができていなかった。学校が単独でアタックしづらかった事業所等について教育委員会が開拓を行い、今回の事業所訪問から受け入れていただいている。新たに開拓した事業所のリストは今回の資料中に添付しているのでご覧いただきたい。市内にはヤンマー建機さんなど、大きいけれど生徒の受入実績がない事業所などもあり、生徒が市内にこのような企業があると知ることが、事業所にとっても働き手、担い手の確保という点から今後大事な取り組みとなるように思う。

先日、九州地区の教育委員研修で日向市に行ったのだが、商工会議所の中に、教員のOBを配置して地元の企業と学校のキャリア教育との連携を図り、コーディネートする部署があっ

た。そのような取り組みも参考とし、今回、新たな事業所の開拓を行おうということで実施したところである。

石橋教育委員

企業に受入をお願いする際の敷居が高いという話があったが、高校生については八女工業高校などインターンシップとして石橋工業で受入を行っている。よその企業でもそのようなところがある。そのようなところには、企業の中にインターンシップを受け入れるためのノウハウが蓄積されている。高校に、生徒を受け入れてもらっている企業のリストを資料として見せてもらうことができれば、更なる事業の充実が可能となるのではないか。高校生は3日や4日というように長期間の訪問を行っている。

中村教育長

参考としたい。

西田市長

他にご意見等あるか。

確かに今ご発言があったとおり、企業の側も、受け入れるとなればしっかりとカリキュラムを組んで対応いただいていると思う。どのような体験をさせるのが子どもたちにとって良いのかは、何年か続けられないことには見えてこないことなのかもしれない。ただ訪問先の事業所数を増やすというだけではなく、こういった職種、こういった体験をさせることが子どもたちの教育にとって有意義なことなのか、今後このような体験を子どもたちにさせていく中でそういった方向性を検討していくという視点も持ちつつ進めるべきであると思ったところである。

先日、ヤンマー建機さんの新事務所の開設に招待され訪問してきたのだが、人材確保のために様々な手段を講じて取り組まれている。子どもの頃から、市内にこのような働く場所があると知ってもらうことは有意義な体験であろうと思う。

それでは次の項目に進みたい。「スポコン広場における移動手段」について報告をお願いしたい。

田中教育指導主事

資料はなく、口頭での説明とさせていただく。スポコン広場とは福岡県の子どもの体力向上のための取り組みである。12種目ほどの競技を各学校で登録して挑戦し、記録の向上を目指しながら子どもたちの体力を向上させていくというものである。その、南筑後管内での大会が行われているところである。今年で3年目の開催となる。今年度、筑後市会場で筑後市とみやま市の共催という形で大会が行われた。そこに、筑後市内の全ての小学校から、中学年1チーム、高学年1チームを参加させたいということで取り組みを進めたところである。

昨年度、大牟田市で大会が行われ、そこに古川小学校から参加したいとの要望があがったものの、生徒の移動手段がなかったことから参加を断念した経緯があった。今年度についても全小学校から2チームずつ、合計22チームが参加するとなると移動手段がどうしても問題となる所であった。

総合教育会議の場で協議がなされ、移動手段を確保するべきであるということになり、予算化が実現し、各学校、無事に大会に参加することができた。

各クラスで競技の練習を行い、学校ごとに予選会を行った。担任とクラスが一丸となり、練習に励む姿が各学校で見られたとのことである。体力向上のための取り組みではあったが、学級経営の面でも、また、子どもたち同士、子どもと先生の間関係の構築の面でも良

い影響があったと多くの学校の校長先生より報告いただいている。

大会に参加した結果、縄跳びの部門、中学年の部で西牟田小学校が最高記録で1位となった。高学年の部でも筑後小学校や羽犬塚小学校が1位と2位に入賞、総合の部門でも中学年の部で古川小学校が2位、松原小学校が3位に入賞し、良い結果を修めることができた。筑後市の子どもたちに良い体験をさせることができたと思っている。感謝申し上げる。

西田市長

報告は以上である。このことについて、ご意見やご質問があれば伺いたい。

齋藤教育委員

私の息子が参加させていただいた。私は見に行くことができなかったが、保護者も大変盛り上がっていた。競技の待ち時間は長かったらしいのだが、みんなで参加できたことで、報告にもあったとおり先生と子どもたちのつながりがとても深くなったと私は感じている。私の息子の学校では宿泊体験も一緒になっていて、宿泊体験の前にスポコン広場の予選が行われたのでクラスが強く結束したとのことであった。「スポコン広場があったから宿泊体験に向けてクラスが一致団結した。」と普段息子が言わないようなことを家庭で話したりと、これに参加したことで普段はできないような学びが子どもと先生の両者に見られたと思う。

西田市長

他に意見等あるか。なければ次の項目である「中学校における剣道の実施」について報告をお願いしたい。

坂本学校教育課長

中学校における剣道の実施について、総合教育会議の中でご意見をいただき、今年度、筑後中学校で木刀を40本購入し、2学期に3年生が剣道を実施するという考え方で授業を行っている。1,2年生は柔道。3年生は剣道ということで実施している。来年度は女子も剣道を実施することで計画されているということ伺っている。

西田市長

中学校における剣道の実施についての報告は以上である。ご意見、ご質問等あれば伺いたい。

久保教育委員

結局、生徒は柔道と剣道の両方を経験できるということか。

坂本学校教育課長

そうである。

西田市長

他に意見等あるか。また、全体を通してのご質問やご意見等はあるか。

久保教育委員

ラジオ体操の実施の件について、先日、ラジオ体操の研修会があった際に、各小学校、校

長先生、教頭先生の参加をいただいたが、非常に良い取り組みだと思っている。今後も続けるつもりでいるか。

森田社会教育課長

これまでの経過を申し上げますと、3年間で全小学校の先生に参加し学んでもらおうということとしており、今回、一回転したところである。今後については学校教育課との協議を詰めた訳ではないが、当然、異動してくる先生や新任の先生がいる訳なので、経験をしていない先生については学んでもらいたいという想いのもと、学校教育課と協議を詰めていきたいと思っている。

中村教育長

今、健康タウン構想の推進において行っているラジオ体操講習会についてはどうか。

森田社会教育課長

健康タウン構想で5年間の指定を受けており、今年が3年目であった。あと2年の期間が残っている。その期間は年に2回、無償で簡保から講師の派遣をしていただけることになっているので、来年、再来年も同じく取り組みを続けていく。

久保教育委員

多胡先生の派遣を受けるのか。

森田社会教育課長

その予定となっている。

西田市長

他に意見等あるか。なければまとめさせていただく。

本日、始めて総合教育会議に参加させていただき、教育委員さんからの意見が具体的な取り組みとなっているとの報告をうけた。このような取り組みがなされているということを知らなかった。申し訳なかった。机上の教育理念を論ずるだけでなく、実際の小学校、中学校の現場で取り組みを行っていくことは大変素晴らしいことだと思うので、今後も教育委員さんの意見に対して、できることばかりでは無いと思うが、積極的に伺いながら、教育長と共に筑後市の教育行政を推進していく所存であるため、今後もよろしくお願ひしたいと思う。

田中総務部長

議事は全て終了した。事務局より連絡事項をお伝えさせていただく。

松永主査

今後、議事録を作成しみなさんにお送りして承認をいただいたうえで、ホームページに掲載することとなるのでよろしくお願ひしたい。

田中総務部長

これにて平成29年度第2回筑後市総合教育会議を閉会する。


以上の筑後市総合教育会議録について、会議の経過を記載し、相違ないことを証明するためにここに署名する。

平成 30 年 3 月 22 日

市長 西田正治 

教育長 中村英司 

委員 久保大 

委員 石橋厚子 

委員 齋藤百合 

委員 吉田和博 